

IMAGINE
THE
FUTURE.

附属大塚 学校だより

本校は、世界最高水準の知的障害教育を目指します。

「夢に向かう」力を育むために～教室の窓から①

今週、高等部の第1次現場実習報告会が行われました。4月から将来の夢について考える授業に取り組んできた高等部では、学校生活のゴールが「働く」ことではなく、一人一人が夢を描き、夢の実現に向かうための手段のとして「働く」ということを学んでいます。自分らしく生きること、素敵な大人を目指すことがどんなことなのかについて、友達の話しを聞いたり、卒業した先輩の話の聞いたりしながら考えてきました。報告会では、2年生と3年生が実習の様子を発表し、目標の振り返りを行いました。その姿は、とても堂々としていて、さすが高校生という貫禄がありました。小学部や中学部の下級生にとっては、かっこよく、素敵な先輩に見えたに違いありません。

ある寓話に「3人のレンガ積み」という話があります。中世のヨーロッパ。町の建築現場で働く三人に「何をしているの?」と聞きました。一人はこう答えました。「私はレンガを積んでいる。」、二人目は「金を稼いでいるのさ。」、そして三人目は、明るく顔を上げて言いました。「後世に残る町の大聖堂を作っているんだ!」。この話は外見上同じ仕事をしていても、人が内面に抱える意識が全く異なることを示す古典的な寓話です。人が「働く」とき、その動機は様々です。お金のために仕事を繰り返す生き方、稼業として生活を支えるために働く生き方、仕事を「使命」と感じ、大聖堂建設のため、町のため、世の中のためという大きな目的に支えられて働く生き方、どれも間違えではありません。なぜ「働く」のかという問いは、その答えが一つではなく、それぞれの意識のなかにある価値を育てることで見えてきます。

「ライフキャリア学習(作業学習)」や「現場実習」は、「働くこと」の意義を考える大切な学習です。私たちは、「やらなければならないからする」というネガティブな動機で作業に向かうのではなく、目的を持って働いてほしいと願っています。中学部や高等部では「願いや夢の実現に向けて働く」という気持ちを育て、ポジティブな動機に支えられて働く生徒の姿を目指しています。

では「夢に向かう」ためには、どのようなことを積み重ねればよいのでしょうか。幼稚部、小学部の皆さんは、たくさんの経験のなかで、自分の好きなこと、自分にできることを見つけてください。興味関心を持って取り組める活動に向かう経験が「夢を描く」第一歩です。さらには、多くの経験の中から、自分で考え、何かを「選び(選択)」、「決める(決定)」こと、そのことを人に「伝える(表明)」経験の積み重ねを大切にしたいのが中学部段階です。自分で決めたことが実現する達成感や成成感、目標に向かう前向きな気持ちや姿勢を育ててくれます(他者が決めたことに向かことは容易ではありません)。様々な「選択・決定・表明・実現」の経験は、現在と卒業後の将来に「目標」を設定する支えとなり、自分が「〇〇をしてみたい」と「願い」や「夢」をイメージできるようになっていきます。一方で、決めたことを「実現」するためには、たくさんの課題と向き合う必要があります。困難なことがあったり、失敗してしまったりしても、そのプロセスを振り返り、次に頑張ろうとする気持ちを持つこと、そして何より、「自分は成長できる」という気持ちにセットする経験の場が大切です。「現場実習」はまさにそうした経験から学ぶ場であり、本校が目指す「本人の願いや思い」を大切にしたい学習の一つです。大塚のみんな!自分らしく素敵な生き方を一緒に見つけましょうね!



先輩の質問に自分で考えて答える生徒の様子



応援歌「ファイトの歌」の様子

附属小学校交流会～共生社会の実現に向けて③～

小学部では、附属小学校と「交流及び共同学習」を行なっています。保谷田園教場での芋掘り交流は、今年で16年目を迎えます。附属小の児童にとっては、多様性を尊重し、障害理解を深めるきっかけとなっています。本校児童にとっては、人との関わりを深め、大勢の友達から声をかけられたり、褒められたりする経験の積み重ねによって、自尊感情を育てる貴重な学びの場となっています。

今年度は、梅雨晴れの天気恵まれ、日頃経験することのできないジャガイモ掘りを存分に楽しむことができました。附属小PTAのみなさんが、収穫したばかりのジャガイモでカレーを作ってください、持参したご飯に掛けて食べました。青空の下にはどろんこになった子ども達の可愛い笑顔で溢れていました。今年出会った附属小児童は、5年生でした。交流は、今後も続きます。楽しみです。

高等部に在籍するSさんは、芋掘り交流で出会った附属小の友達が大学生となり、今でも手紙のやりとりをしているそうです。交流がきっかけの素敵な出会い。楽しかった交流の思い出を単なる経験で終わらせるのではなく、互いの育ちを支える出会いの場であってほしいですね。こうしたエピソードを聞くと嬉しくなります。共生社会を実現させる主役は誰？もちろん当事者である子ども達自身です。



お芋がゴロゴロ。一緒に掘るから楽しい！



恒例です「貨物列車シュッシュシュ〜！」



進路校外学習～高等部広報委員会トピックス②～ 記者：Aさん・Bさん

5月28日、6月4日、6月7日に高1が進路校外学習をしました。

28日は中学部3年生と一緒に、後の2回は高等部1年生のみで実施しました。

<進路校外学習の感想>

- ・パンを作っている人を見ました。上手だと思いました。作業所で仕事をしたいと思いました（高1：）。
- ・ふくろづめをみました。ふくろづめをやりたいです（高1：）。



高1 佐藤さん、中川さんがスマイルノートで作りました。

体育校外学習～高等部広報委員会トピックス③～ 記者：Cさん・Dさん

6月21日金曜日に筑波大学に体育校外学習に行きました。

今回は50m走、100m走、800m走、1500m走、最後のメインはリレーをしました。

筑波大学の学生の方々がリレーのお手本を見せてくれました。

とてもカッコ良かったです。

新記録の出た人や出なかった人も頑張って走りました。

お昼はみんなで楽しくお弁当を食べました。

12月に向けて体力をつけて行きましょう。



お知らせ～ 高等部広報委員会では、各学部を取材して記事にしていこうになりました。お楽しみに！

お知らせ ～評価3学期制について

本校は、子ども自身の「願いや思い」を大切に、自立と社会・文化への参加を目指した教育を行なっています。「個別教育計画」は、幼児児童生徒一人一人の生活を丁寧に見つめ、附属大塚を卒業するまでに身につけてほしい力に加えた個々の願いの実現に向けてプランされる大切な教育活動の拠り所です。これまでは、「個別教育計画」の評価は、前期後期の2回に分けて行なっていましたが、より丁寧な振り返りを行うことで、新しい目標や手立てを見直す機会として、学期ごとの3回に分けて行います。今後の通知表では、目標が達成したもの、継続するもの、目標や手立てを見直す必要があるものをご提示していきます。

現職教員研修について

附属特別支援学校5校で組織された「特別支援教育連携推進グループ」では、附属学校の実践を通して専門性や指導力を高める現職教員の研修生を受け入れています。本年度は、北海道立特別支援学校より、E教諭が本校高等部に配属され、2学期までの間、週4日間の実践研修を行います。E教諭は、「主観視点での動画教材を用いた児童・生徒への効果的な支援のあり方について」というテーマを設定し、タブレットPCを活用した教材開発を行っています。アイデア豊富な八木教諭に私たちも多くを学んでいます。



7月の予定

- 1日(月) 開校記念日(学校休業)
- 2日(火) 発育測定(幼小)
- 学校説明会(中高)
- 個人面談(幼①高⑤)
- 3日(水) にこにこ広場⑥
- 学校説明会(小)
- 個人面談(幼②)
- 4日(木) 学校説明会(幼)
- PTA研修会9:00会議室
- 個人面談(幼③)
- 介護等体験F-①
- 5日(金) 介護等体験F-②
- キッザニア職員研修②(小)
- 校外学習 ③(中) テーブルマナー
- 個人面談(幼④)
- 6日(土) 公開講座(幼) 幼児登校11:15下校
- 8日(月) 合同朝会
- 介護等体験G-①
- 学校休業(幼)
- ICT講演会9:00会議室(保護者対象)
- 9日(火) 介護等体験G-②
- スマイル(高)
- プール活動(小) 個人面談(幼⑤)

- 10日(水) スマイル(中)
- 防犯訓練10:00
- 個人面談(幼⑥)
- 11日(木) 作業見学会・作業終了(中)
- キッザニア職員研修②(小)
- 進路説明会(中) 11:00
- 三浦海岸共同生活説明会(中) 14:00
- 12日(金) 給食終了
- 親子観劇(小) 劇団プーク
- 15日(月) 海の日
- 16日(火) 短縮日課 11:15/11:30下校
- 17日(火) 短縮日課 11:15/11:30下校
- 18日(木) 短縮日課 11:15/11:30下校
- 学部懇談会(小) 9:10
- 附属高校交流会(中)
- 学校休業(幼) 25日登校日の振替
- 19日(金) 終業式 10:15/11:30下校

9月の予定

- 2日(月) 始業式
- 引き渡し訓練10:30~12:00
- ※避難訓練後、フェアキャストで幼児児童生徒の
お迎えの通知を配信します。ご協力お願いします。

夏季休業中の予定

- 高等部：7月25日(木) 26日(金) 附属坂戸交流会 8月27日(火)
- 中学部：8月25日(日)～27日(火) 三浦海岸共同生活(2学年) 附属学校群交流事業

